

サステナビリティ*取組 *サステナビリティとは、持続可能性という意味です。

MS&ADインシュアランス グループは、中期経営計画「Vision 2021」において、2030年に目指す社会像を「レジリエントでサステナブルな社会」と定めています。ステークホルダーの皆さまから広く支持される存在として持続的に成長し続けるには、これまで以上に企業活動を通じて社会との共通価値を創造し続けることが不可欠です。こうした認識のもと、SDGs(持続可能な開発目標)を道標(みちしるべ)とし、「レジリエントでサステナブルな社会」の実現に向け取り組んでいます。

「社会との共通価値を創造する(Creating Shared Value=CSV)」取組を重点課題と位置付け、企業が存在する基盤である社会に価値をもたらすことで、社会と企業双方の「共通価値の創造」による「サステナビリティ」の実現を目指します。



SDGs(エスディーゼーズ)：持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略称。
 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。17の目標と169のターゲットから構成されています。

当社では、SDGsの「3:すべての人に健康と福祉を」を中心に、お客様の「元気で長生き」を支える取組を推進しています。
 また、「社会の信頼に応える品質」に向けた取組などを行っています。



いのち・医療に関する活動等

お客さまに医療情報をお伝えする活動

日々進化する医療について分かりやすくお伝えすることも生命保険会社の使命と考え、最先端の医療に関する情報提供・啓発活動に取り組んでいます。先進医療を解説した冊子の制作、専用WEBサイトでの情報発信のほか、脳卒中の予防啓発活動として公益社

団法人日本脳卒中協会と共同で「脳卒中プロジェクト」を立ち上げ、市民向けセミナーなどを行っています。詳しくは53ページをご参照ください。

世界の子どもにワクチンを贈る活動

かけがえのない「いのち」を大切に守り未来に受け継いでいきたいという思いを込めて、当社商品ブランド「&LIFE(アンドライフ)」の新規契約件数に応じた金額をワクチンなどの購入費用として、認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会へ寄付しています。2017年度分としては、ポリオワクチン12万7千人相当分を寄付しています。



©JCV

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
 世界でワクチンがないために命を落とす子どもは1日4,000人。世界の子どもにワクチンを 日本委員会は、ワクチンで救える命のため、ユニセフやWHO、途上国の保健省と連携しながら途上国にワクチンを贈る民間の国際支援団体です。ワクチンだけでなく、ワクチンを運ぶ自転車、保存するための冷蔵庫などを贈り、支援国が継続的、主体的にワクチンを管理できるように活動をしています。
<http://www.jcv-jp.org>

オレンジリング活動(認知症サポーター養成講座の開催)

社員・代理店を中心に、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者(認知症サポーター)を養成する講座を開催しています。サポーターの目印であるオレンジ色のリングにちなんで、当社では「オレンジリング活動」と呼んでいます。



上記以外にも、健康で安心な暮らしを支える以下の取組みなどを行っています。

- 新商品の発売 50ページ
- ご高齢のお客さまへのサービス 家族Eye(親族連絡先制度) 66ページ
- 視覚障がい者の方への対応 67ページ
- 先進医療給付金直接支払サービス 68ページ

社会的課題の解決に貢献する取組み

日本の子どもの貧困問題の解決に貢献

昨今の社会的課題である日本の子どもの貧困問題の解決に寄与し、未来を担う子どもたちが将来への希望を持てる社会づくりに貢献したいと考え、特定非営利活動法人キッズドアへの寄付をしています。寄付は、経済的に困難な生活環境にある子どもたちへの教育支援に役立てられます。

特定非営利活動法人キッズドア

日本の子どもの貧困率は13.9%。キッズドアは貧困などの困難な環境にある日本の子どもの社会へのドアを開けるべく、多くの大学生・社会人ボランティアと共に、国内の子どもの教育支援に特化した活動を展開しています。
<http://www.kidsdoor.net>

高齢者の現況調査を通じた社会貢献

ご高齢のお客さまに現況を調査する取組みの中で、当社が特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルに寄付をすることの賛同を募っています。

賛同のお気持ちを表明いただいたお客さまの人数に応じた金額を当社から寄付しています。

ご高齢のお客さまが社会とのつながりを意識しながら、気軽に参加できる社会貢献活動として取り組んでいます。

認定NPO法人ブリッジフォースマイル

児童養護施設等から社会に巣立つ子どもたちに対して、自立のための知識やスキルを身に付けるセミナーの開催、就労や奨学金の支援、生活必需品や安価で安心して住める住宅の提供等、さまざまなプログラムで子どもたちの自立をサポートしている団体です。2004年12月設立。
<https://www.b4s.jp/b4s/>



社会の信頼に応える品質に向けた取組み

社会の信頼に応える品質向上の主な取組みとして、以下の取組みなどを行っています。

- ユニバーサルデザインへの対応 55ページ
- 「お客さま第一の業務運営に関する方針」に基づく取組み 10ページ
- お客さま満足度向上に向けた取組み 37ページ
- 重要なことをわかりやすくお伝えする取組み 55ページ
- お客さま対応の品質向上 63ページ

地域貢献・社員活動

「よこはま動物園ズーラシア」の緑化・花壇整備など

当社社員によるボランティア活動として、「よこはま動物園ズーラシア」の花壇や緑地の整備を行っています。

この活動は、よこはま動物園の園内緑化活動計画の一端を当社が担うものです。



社員参加で推進する活動

所属部署ごとに推進役を選任し、社会貢献活動に取り組んでいます。活動内容は、「地域の清掃活動」「チャリティーバザーへの物品提供・参加」「使用済切手等の収集」「募金・寄付」など多岐にわたっています。



ハートポイント制度による寄付

社員の自発的・積極的な社会貢献活動に対してポイントを付与し、そのポイント総数に応じて当社がNPO法人などに寄付を行う「ハートポイント制度」を実施しています。

取組みテーマは、いのち・医療に関する活動への参画、地域のボランティア活動参加、募金・チャリティー商品の購入、スポーツ振興活動などとしています。

2017年度分は、この活動によるポイント総数に応じた金額について、公益財団法人 鎮守の森のプロジェクトに寄付し、東日本大震災の復興支援活動にもつながる取組みを行っています。

障がい者作業所製品の販売会

本社ビルでは、MS&ADホールディングスとともに障がい者作業所製品の販売会を開催しています。作業所で作られた製品を購入することで、障がい者の方々の自立を支援する活動として取り組んでいます。

上記以外にも、一般社団法人生命保険協会および全国にある地方生命保険協会を通じて、要介護老人支援策、募金・献血運動などさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

MS&ADインシュアランス グループの取組み

MS&ADインシュアランス グループの企業が一体となって取り組んでいる以下の活動などに参画しています。

MS&ADラムサールサポーターズ～いのち・つなげる・水辺から～

ラムサール条約に登録されている湿地を中心に、全国11ヵ所(千葉県谷津干潟、栃木県渡良瀬遊水地、滋賀県琵琶湖等)で、水辺の環境保全活動を推進しています。



MS&ADゆにぞんスマイルクラブ

社員有志が毎月の給与から任意の額を拠出し、その資金を社会貢献活動に役立てる活動です。「世界の子どもたちへ編み物作品を贈ろう!」プロジェクト等も実施しています。

東日本大震災に対する取組み

復興支援を継続的に進めていくことを目的に、日本プロサッカー選手会との共催で、宮城県南三陸町の小学生を対象に開催しているJリーガー(現役・OB)によるサッカースクールなどのボランティア活動を行っています。

MS&ADインシュアランス グループでは、これまで企業が社会や環境と共存し持続可能な成長を図るため、自らの事業活動の影響について責任を果たす行動を示す言葉として使用してきた「CSR(Corporate Social Responsibility)活動」を2018年度から目指す社会像を示す「サステナビリティ取組」に変更しています。

スポーツ振興

当社は、スポーツ界の第一線で活躍する選手をサポートし、日本のスポーツ界の強化・繁栄ならびに社会貢献の観点から、スポーツの振興に取り組んでいます。

サッカー・視覚障がい者柔道などの選手が当社に在籍し、競技と仕事を両立させながら、活躍しています。

サッカー

当社は、なでしこリーグ(日本女子サッカーリーグ) 1部に加盟する「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース」を応援しています。このチームに所属する千野晶子・安齋結花・上野紗稀選手が当社に在籍しています。2017なでしこリーグ1部では、18試合7勝1分10敗で第7位、なでしこリーグカップ1部では優勝、女子サッカーチームの日本一を決める第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会では、ベスト4の成績を収めています。

また、同リーグ2部の「スフィーダ世田谷FC」に所属する花桐なおみ・田中真理子選手も当社に在籍し、活躍しています。今後も当社在籍選手をはじめ各チームを応援し、日本女子サッカーの発展に貢献していきたいと考えています。

また、当社を含むMS&ADインシュアランス グループでは、サッカー日本代表を応援しています。



©JEF UNITED



© SFIDA SETAGAYA FC

視覚障がい者柔道

当社には、石井亜弧選手が在籍しています。2017年度は、「IBSAワールドカップ・ウズベキスタン大会」で5位、「全日本視覚障害者柔道大会」で準優勝の成績を収めています。



障がい者スポーツの普及・強化を支援

NPO法人日本視覚障害者柔道連盟、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟の活動に協賛し、障がい者スポーツの普及・強化に取り組んでいます。障がいのある方々の社会復帰や生きがい発見を支援し、クオリティ・オブ・ライフの向上に役立つ活動を続けていきたいと考えています。全日本視覚障害者柔道大会には、当社社員が応援・運営ボランティアとして参加しています。



提供:エックス-1

環境問題への取り組み

「三井住友海上あいおい生命 行動憲章」では社員の果たすべき7つの責任の一つに「環境への責任」を掲げ、MS&ADインシュアランス グループの一員として、環境問題への取り組みを積極的に推進しています。また、中期経営計画「Vision 2021」にも、社会や環境と共存し持続可能な成長を図るために「サステナビリティ取組の推進」を掲げ、その一環として、以下の環境方針のもと地球環境の保全と改善に向けた取り組みを進めています。

MS&ADインシュアランス グループ環境基本方針

MS&ADインシュアランス グループは「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます」という経営理念(ミッション)に基づき、環境について経営戦略の一環として次の主要課題を定め、行動基準に沿った取り組みを推進します。環境マネジメントシステムによる継続的な改善に努め、環境関連法規制やMS&ADインシュアランス グループが同意する原則・指針等を遵守します。

主要課題

1. 気候変動の緩和および気候変動への適応
2. 持続可能な資源の利用
3. 環境負荷の低減
4. 生物多様性の保全

行動基準

1. 保険・金融サービス事業を通じた取り組み
主要課題に貢献する保険・金融サービスを創出し、社会的課題の解決と企業価値の向上に努めます。
2. 事業プロセスにおける取り組み
事業プロセスを革新的に見直し、資源・エネルギーの効率的利用を図りつつ、品質向上および業務の改善に努めます。
3. 環境啓発および保護活動
役職員および地域社会や次世代への環境啓発を通じて、ステークホルダーとともに環境保護活動を推進し、信頼と共感を獲得します。

環境マネジメントシステムの推進

当社では、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を、2002年12月以降、維持しています。さらに、2013年4月から、MS&ADインシュアランス グループ共通のマネジメントシステム「MS&ADみんなの地球プロジェクト」を新たに開始して、環境取組のさらなる推進を図っています。

当社の環境活動は、全社員が省エネ・省資源、リサイクル活動の推進を目標に取り組む「全店共通活動」と、本社各部が環境に配慮したサービスの提供や業務の進め方に関する具体的活動目標を設定し、年間計画を立案・実行する「本社部門活動」との2本柱で進めています。



全店共通活動

1. 紙使用量の削減

両面コピー、2イン1縮小コピー、裏紙の利用などに全社員で取り組んでいます。

2. 電力使用量の削減

最終退出者による共有機器電源オフ、長時間離席時の端末電源オフ、未使用区画の消灯、階段利用の促進、夏季期間中の冷房温度設定、冬季期間中の暖房温度設定などに全社員で取り組んでいます。

3. ガソリン使用量の削減

MS&ADインシュアランス グループとして、自動車保険のご契約者さまなどへお薦めしている「エコ安全ドライブ」に、当社の社有車を運転する社員自らも取り組んでいます。また、Web会議の活用により、社有車による移動自体を削減しています。

本社部門活動

生保かんたんモード(ペーパーレス申込手続き)

2015年5月にリリースした「生保かんたんモード」は、個人契約を対象に、パソコンやタブレット端末で、提案からお申し込み手続きまでをペーパーレスで完了することができる画期的なシステムです。「生保かんたんモード」によって、申し込み手続き書類等がなくなり、省資源・紙使用量の削減につながります。